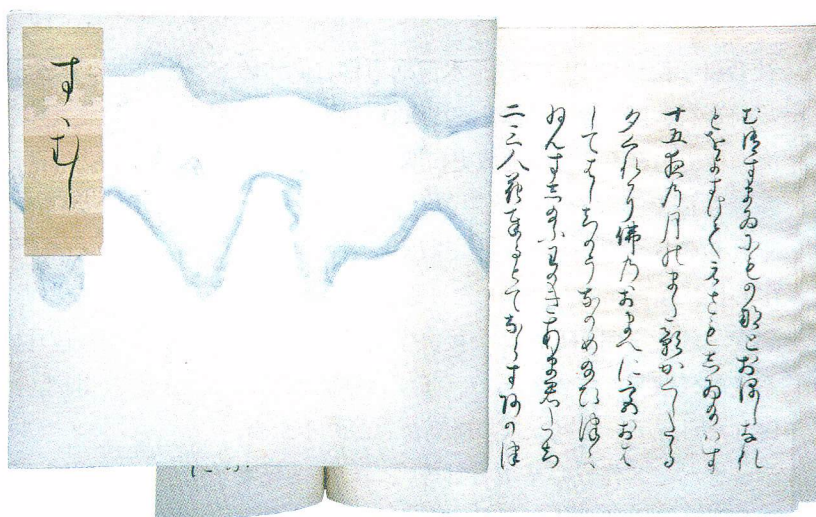




Kumamoto University Library Bulletin, Vol.25, No.3, July, 2000

- 学術資料調査研究推進室の活動
- 予算執行状況がネットワークで確認できます
- 図書館諸統計(平成11年度)
- 特殊資料展「永青文庫による細川家(藩)の大名屋敷」



永青文庫蔵熊本大学附属図書館寄託「源氏物語 季吟筆」より
江戸時代前期の俳人、歌人、古典研究家として有名な北村季吟(1624-1705)
の筆による源氏物語の「鈴虫」の箇所。なお新二千円札の図柄となった
源氏物語絵巻の「鈴虫」は五島美術館蔵のものである。

学術資料調査研究推進室の活動

平山 忠一

平成11年度に設置した学術資料調査研究推進室の活動状況及び今後の予定を簡単にご報告します。

1. 平成11年度活動報告

(1) 推進体制の整備

- ・組織 推進室要項を制定し、5名の室員を発令、体制整備を行った。
開室式(オープンセレモニー)を開催した。
- ・施設 図書館内に推進室を設置、パソコン、書架、机などを整備した。

(2) テーマ別の活動状況

<水俣病関係学術資料の整理収集>

・医学及び自然科学分野については、我が国が国際的に立ち後れていると言われるメチル水銀中毒に関する研究の分野において、欧米の研究成果等を系統的に収集することが大変重要となっている。11年度は、内外の基本文献及び基本的なデータを含む政府レポートの一部について収集を行った。また、熊本大学が所有する「水俣病患者」の脳の標本、カルテ、所見などの分析・保存の方策及び今後の研究への活用について検討した。

・社会科学関係については、水俣病事件に関する裁判資料、国・県・市などの行政資料、不知火海漁業史・環不知火海地域史に関する資料など、多種多様で膨大な量の種類の資料が存在する。それらのうち水俣病研究会で収集された資料を中心に、図書館内へ設置した「推進室」へ集め、調査・分析を開始した。今後、学術的な資料を系統的に収集してゆく上で、まずは検索機能に優れた目録データベースの構築が急がれるため、データベース作成の基本方針等について関係者の意見をまとめつつ資料類の分析と入力作業に取りかかった。

<熊本大学が所蔵する古文書の分析、研究>

・国指定重要文化財「阿蘇家文書」を画像入力し、プロトタイプとしてインターネット上で公開中である。

・11年度熊本大学特殊資料展(天草・島原の乱)の電子図録(解説付き)を作成しインターネットへ公開した。

<ラフカディオ・ハーンコレクションのデータベース化の研究>

・科研費(研究成果公開促進費)：島根大学、富山大学、熊本大学による共同研究の配分を受け、主要著作物の全文データベース化を分担した。

2. 今後の展開

(1) 中期的計画の概要

<水俣病関係>

・「水俣病」患者の医学的データの整理とそのデータベース化を目指す。

1) カルテ、臓器標本の整理と資料化。

2) 現在、生存しておられる患者の医学的所見(疫学所見、精神神経学的所見、神経内科的所見、さまざまな医療機器によって解析された結果(核磁気共鳴、CT、脳波)の整理と資料化。

また、引き続きメチル水銀中毒の研究に必要な参考図書、論文、情報を集めるとともにそれらの目録データベースを作成する。中毒、毒物関連の教科書、メチル水銀、水銀に関する文献、メチル水銀中毒によって傷害される神経系に関する図書、環境汚染に関する資料などを対象とする。

・水俣病事件に関する基礎的な資料を収集し、そ

れを系統的に編集し叢書としてまとめる。

- ・推進室の成果をWWWなどの電子的な手段により体系的かつ効果的に情報発信するためのシステムを構築する。文献情報、所在情報とのリンクも図る。

<古文書>

- ・肥後藩政資料「北岡文庫」の所有者である(財)永青文庫と協議し、電子化対象資料の拡大を図る。

<ハーン>

- ・科研費(島根大学、富山大学、熊本大学)の共同研究を国際的な研究活動へ発展させるためのデータベースの充実を図る。

(2)課題

<水俣病関係>

1)資料センターあるいは研究センター化構想

- ・外国の研究者がサバティカル(sabbatical term)で一定期間滞在して関連の資料などを利用できるセンター的機能の確立
- ・標本など(書籍、文献の形態でないもの)の収集、展示、保存の必要性
- ・叢書などの研究成果の継続的な編集出版

2)予算基盤の確立

- ・調査研究を継続的に展開するための予算確保

3)収集情報の公開とデータの取り扱い

- ・情報発信の手段、方法
- ・データの種別、特徴、データ作成方法、リンクの方法

<古文書>

- ・古文書担当図書館員の育成

<ハーン>

- ・科研費(島根大学、富山大学、熊本大学)による成果の継続的な展開。

3. 12年度実施計画

<水俣病関係>

(1)医学関係テキストデータの入力

(2)社会科学関係資料(コレクション)の収集・整理・データ入力

(3)叢書の編纂

(4)関連図書及び学術文献の調査と収集、新刊書、古書については購入、寄贈依頼を行う。学術論文については、別刷り請求または文献複写依頼を行う。

(5)文献目録の電子化

(6)利用可能な既存データ(カード、ファイルメーカ)からのデータ移行

(7)マスコミ関係情報(新聞記事、放送)の収集

(8)2001年開催第6回水銀国際会議に向けた活動

<古文書>

- ・高精細の画像作成及び提供に関する調査研究を行う。
- ・12年度特殊資料展の電子図録を作成し公開する。

<ハーン>

- ・科研費による2年目の研究へ参加し、ハーン後期著作物の全文データベース化を行う。11年度作成データと合わせて公開する。
- ・ハーン生誕150年記念事業に呼応した活動を検討する。

（ ひらやま ちゅういち
学術資料調査研究推進室長・附属図書館長 ）

図書館資料の予算執行状況がネットワークで確認できます

平成12年10月から、図書館資料の予算執行購入状況がネットワークで確認できます。

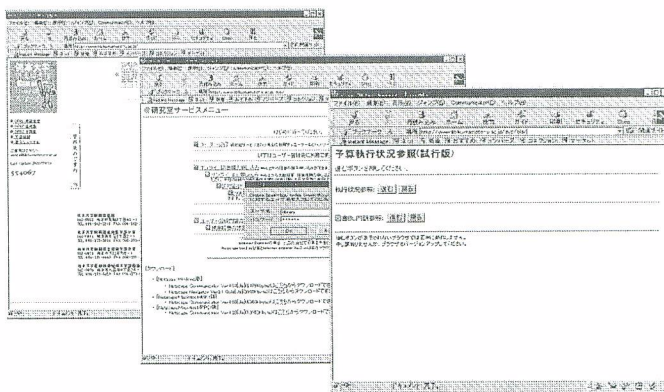
これまで「研究室OPAC」サービスによって、図書（備品）の支払金額等の内訳がネットワークで確認できていましたが、今後は消耗品扱いの図書等（通称「印刷物」）や雑誌さらに文献複写料金の執行状況も確認できます。

検索結果はダウンロードすることができますので、各学部等における独自のデータ管理にも活用することができます。詳しい利用方法等については改めてホームページ等でご紹介いたします。

接続とメニュー選択

- ・ 図書館のホームページから「研究室サービス」メニューを選択します。
- ・ 「予算執行状況確認」のメニューを選択します。
- ・ 研究室サービスのユーザIDとパスワードを入力します。未登録の場合は「ユーザ登録」メニューで登録して下さい。
- ・ 次に「一覧検索」か「内訳検索」のメニューを選択して下さい。

*以下の画面例は運用時には異なる場合があります



接続からメニュー選択までの流れ

検索

検索画面で検索項目を指定して「検索」ボタンをクリックして下さい。主な検索項目等は以下の通りです。

・ 予算コード（必須）

図書館で発行している6桁の予算コードです。各事務担当者に別途お知らせしているコードです。

[例1] 012345：○学部○教室

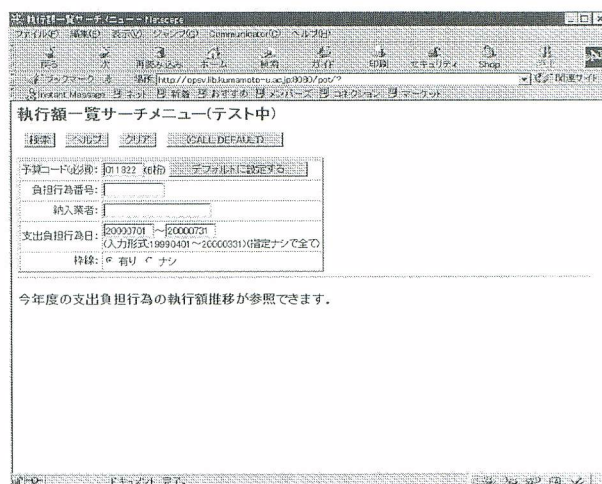
定期的に同じコードで検索する場合は既定値（デフォルト）として設定することもできます。

・ 支出負担行為日

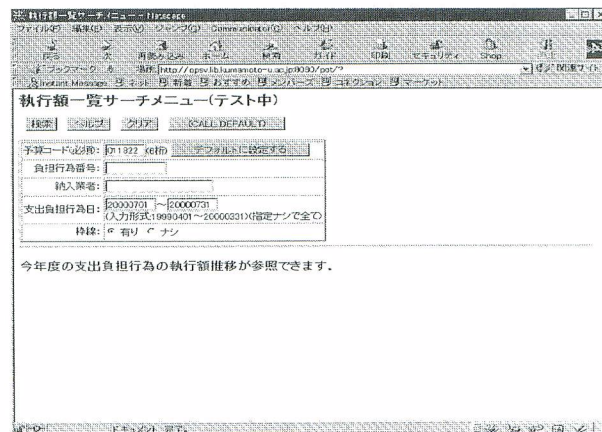
年月日の8桁数字で対象期間を指定します。

・ 並べ替え

検索結果を、コード順、日付順、番号順、資料名順などに指定することができます。



「一覧検索」の検索画面



「内訳検索」の検索画面

一覧表示

「一覧検索」の結果は、支出負担行為の単位で以下の項目が表示されます。

- ・ 経理分類コード
- ・ 科目コード
- ・ 負担行為日
- ・ 負担行為番号
- ・ 摘要
- ・ 金額
- ・ 備考など

「摘要」欄の番号をクリックすると図書や雑誌等の1冊単位の情報を詳細表示(次項)することができます。

詳細表示

資料の1点1点についての内訳情報として以下の詳細情報が表示されます。

- ・ 負担行為番号
- ・ 図書館で管理しているブロック番号
BL番号：図書
PL番号：印刷物・視聴覚資料、文献複写
SL番号：和雑誌ほか
- ・ 予算コード
- ・ 図書や雑誌のタイトル
- ・ 金額等
- ・ 入手希望者名(発注時に指定があれば)

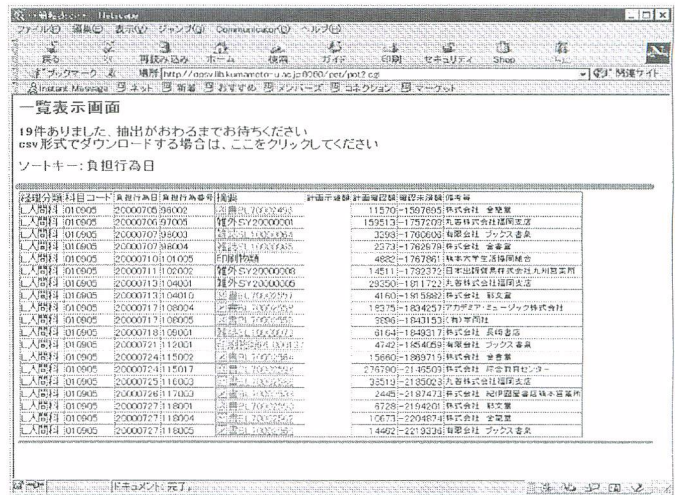
ダウンロード

各画面のデータはダウンロードすることができます。

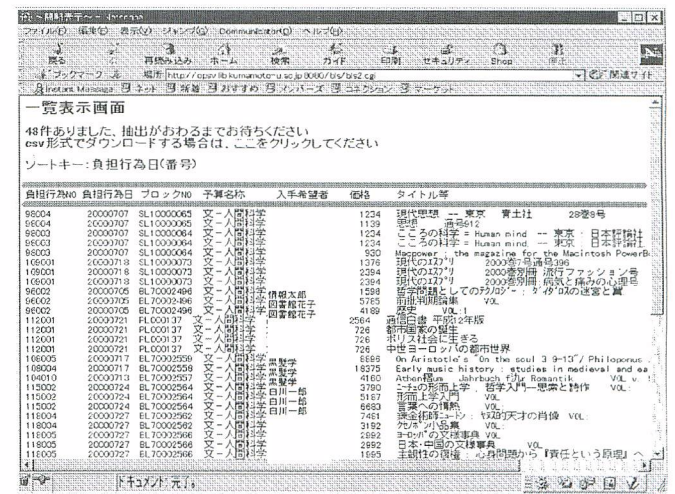
各画面のダウンロードボタンをクリックして、データの抽出終了のメッセージがでたら再度ダウンロードボタンをクリックします。使用しているパソコンのブラウザの指示に従って適当な場所にデータを保存します。

保存されたデータは、カンマで区切られたCSV形式になっています。

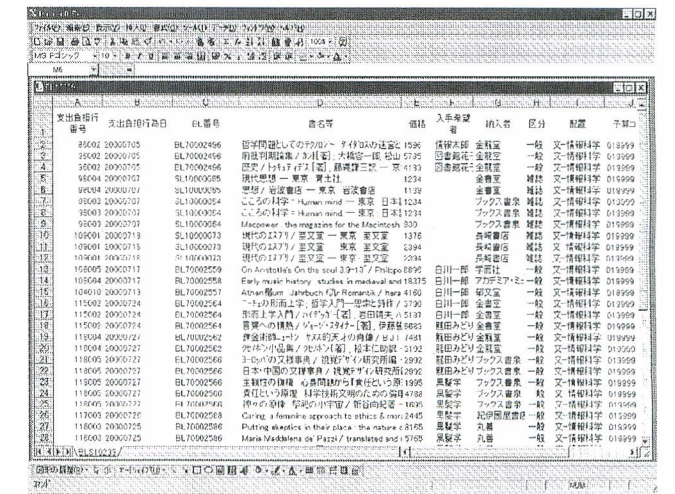
各自の表計算ソフト等で読み込むことで、各自で個別のデータ管理が可能になります。



執行状況の一覧表示画面(架空のデータです)



詳細表示画面(架空のデータです)



ダウンロードデータを表計算ソフトで表示した例(架空のデータです)

図書館諸統計（平成11年度）

I. 受入統計

(1) 年間受入

		中央館			医学部分館			薬学部分館			計
		購入	寄贈等	小計	購入	寄贈等	小計	購入	寄贈等	小計	
図書	和漢書	8,492	1,212	9,704	286	239	525	126	1	127	10,356
	洋書	2,312	2,514	4,826	192	1,622	1,814	47	360	407	7,047
	計	10,804	3,726	14,530	478	1,861	2,339	173	361	534	17,403
雑誌	日本語	1,634	1,297	2,931	209	717	926	29	162	191	4,048
	外国語	1,410	31	1,441	537	154	691	78	20	98	2,230
	計	3,044	1,328	4,372	746	871	1,617	107	182	289	6,278
新聞	日本語	10	16	26	4	0	4	6	3	9	39
	外国語	3	5	8	1	0	1	0	0	0	9
	計	13	21	21	5	0	5	6	3	9	48

(2) 蔵書

		中央館	医学部分館	薬学部分館	計
図書	和漢書	688,052	69,788	15,212	773,052
	洋書	332,658	99,692	19,505	451,855
	計	1,020,710	169,480	34,717	1,224,907
雑誌	日本語	12,580	1,973	358	14,911
	外国語	5,417	2,237	397	8,051
	計	17,997	4,210	755	22,962

II. 利用統計

(1) 開館日数・入館者数・貸出冊数

	中央館	医学部分館	薬学部分館	計
開館日数	323	327	324	974
時間外開館日数(内数)	271	274	271	816
入館者数	423,480	150,347	105,283	679,110
時間外入館者数(内数)	110,037	41,805	40,166	192,008
貸出冊数	45,980	6,050	1,248	53,278

(2) 相互利用(他大学等との現物貸借・文献複写)および学内文献複写

		中央館	医学部分館	薬学部分館	計
現物貸借	依頼冊数	650	24	2	676
	受付冊数	299	4	1	304
文献複写	依頼件数	4,141	4,120	1,615	9,876
	受付件数	2,161	6,043	970	9,174
学内での文献複写		380	254	231	865

(3) 貴重書等の利用(中央館)

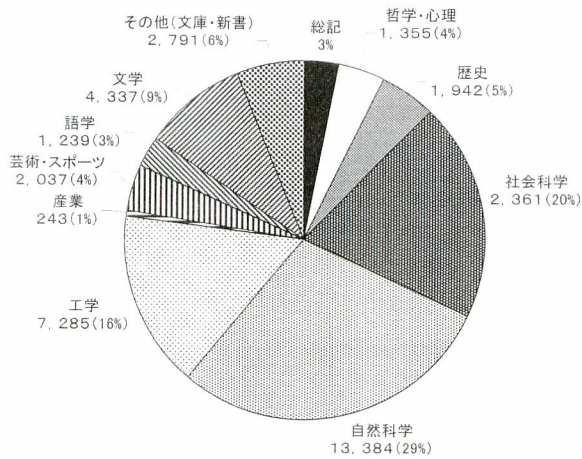
	松井文庫	北岡文庫	その他
利用者数	26	343	5
利用冊数	296	4,211	26

(4) 視聴覚資料の利用(中央館)

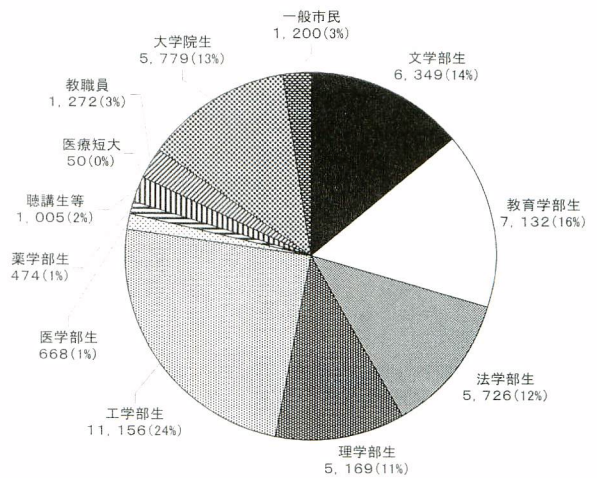
ビデオ・LDの利用件数	2,877
CD-ROM*の利用件数	77

* スタンドアロンのみ

(5) 分野別貸出状況

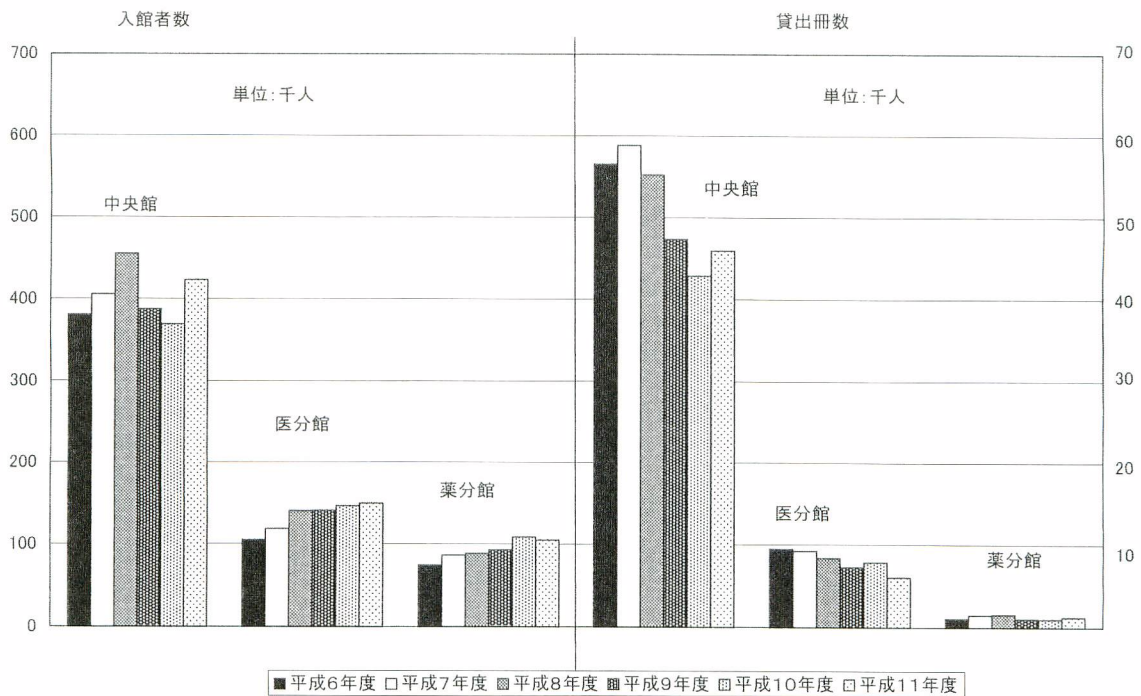


(6) 学部別貸出冊数(中央館)

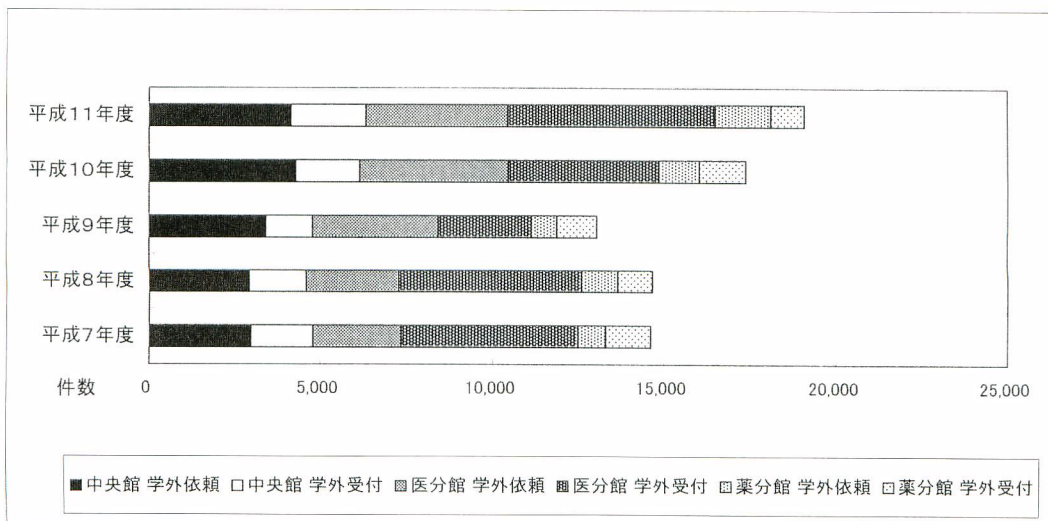


III. 年次推移

(1) 入館者数・貸出冊数の推移



(2) 他大学等との相互利用(文献複写のみ)の件数の推移



本学教官寄贈図書 (平成12年4月～6月)

★ASPECT熊大コーナーに配架しています★

- ◆ 杉谷恭一教授 (文学部)
ニヒル思想の歪曲：受容をめぐる100年のドラマ / マンフレート・リーデル著；恒吉良隆，米澤充，杉谷恭一訳。-- 東京：白水社，2000.4.
中央館・教官著書コーナー：134.9/R,38
- ◆ 岩井善太教授，水本郁朗助教授 (工学部)
振動工学の講義と演習 / 岩井善太，日野満司，水本郁朗共著。-- 東京：日新出版，2000.4。-- (実用理工学入門講座)。
中央館・教官著書コーナー：501.24/I,93
- ◆ 藤田豊助教授 (教育学部)
リズム動作の分析から見た認知発生メカニズム / 藤田豊著。
-- 東京：風間書房，2000.2。
中央館・教官著書コーナー：376.11/F,6
- ◆ 綾一非常勤講師 (大学教育研究センター)
高度1万メートルから見た雲たち / 今井正子写真・文；綾一解説。-- 東京：成山堂書店，2000.4。
中央館・教官著書コーナー：451.61/I,43

最近の図書館の動き (平成12年4月～6月)

- 開館時間を延長 (中央館)
4月11日から、平日の閉館時間を1時間延長し、午後9時まで開館しています。平日の開館時間は、9時から21時までです。どうぞ、ご利用ください。
- 開館時間を延長 (中央館)
4月11日から、平日の閉館時間を1時間延長し、午後9時まで開館しています。平日の開館時間は、9時から21時までです。どうぞ、ご利用ください。
- 新生ガイダンス実施 (中央館)
昨年に引き続き、4月に新生を対象としたガイダンスを実施しました。このガイダンスは、図書館利用について総合的に紹介するもので、OPACの基本的な使い方、館内施設などを説明しました。秋には、文献探索についての理解を深めるためのガイダンスも予定しています。
- 九州各県のローカル新聞購読開始
九州地区各県のローカル紙を中央館正面玄関ロビーで読むことができます。(附属図書館ホームページの“学術情報”のページからも各紙へリンクされています。)
長崎県 長崎新聞
大分県 大分合同新聞
佐賀県 佐賀新聞
宮崎県 宮崎日日新聞
鹿児島県 南日本新聞
沖縄県 琉球新報
- 熊本県域版OPACサービス公開中
5月から新しく、熊本県内でOPACのサービスを行っている大学図書館を同一画面で検索できるサービスを開始しています。詳しくは附属図書館ホームページ“OPAC県域版”をご覧ください。
- 情報リテラシー教育支援
総合情報処理センターおよび附属図書館の組織的な協力のもとに、平成12年度前期から新たに一般教養総合科目「情報メディアとネットワークの活用」が開講されました。詳細については、次号に紹介記事を掲載する予定です。

人事異動

- 採用(平成12年7月1日付け)
情報管理課総務係事務補佐員
中本幸子

委員会報告（平成12年4月～6月）

附属図書館運営委員会

■平成12年度第1回(5月17日)

[協議事項]

- (1)大学院自然科学研究科からの附属図書館運営委員の選出及び附属図書館運営委員会規則の改正
- (2)図書館における電子的サービス検討専門委員会の設置
- (3)その他
 - ・附属図書館運営委員会開催日の定例化

[報告事項]

- (1)自己評価委員会の運営・管理専門委員会委員の交替
- (2)大型コレクション等の要求順位
- (3)学術資料調査研究推進室の活動
- (4)図書館ガイダンス等の実施状況
- (5)総合科目「情報メディアとネットワークの活用」の実施状況
- (6)第30回九州地区国立大学図書館協議会等
- (7)科学研究費補助金の交付内定
- (8)その他
 - ・教育研究共用施設の将来構想
 - ・大学教育研究センター等改修に伴う図書の移動作業等

附属図書館専門委員会

■平成12年度第1回選書専門委員会(5月17日)

[協議事項]

- (1)学生用雑誌の見直し

医学部分館図書委員会

■平成12年度第1回（6月14日）

[協議事項]

- (1)平成12年度の予算
- (2)医学部図書委員会
- (3)図書・講義棟設計の合同ワーキンググループの設置
- (4)附属図書館医学部分館自己評価案

薬学部分館図書委員会

■平成12年度第1回（5月31日）

[協議事項]

- (1)平成11年度決算報告
- (2)平成12年度予算
- (3)日本薬学図書館協議会会費

[報告事項]

- (1)平成11年度閲覧統計
- (2)薬剤学研究室からの返却雑誌
- (3)平成12年度自然科学系図書資料の推薦順位
- (4)薬学部教官への督促メールの開始

日誌（平成12年4月～6月）

4/12	新入生対象図書館がイタンス・中央館（4/28迄）	5/17	平成12年度第1回附属図書館運営委員会
4/14	総合科目「情報メディアとネットワークの活用」の開講	5/23-24	平成12年度国立大学附属図書館事務部長会議（東京医科歯科大学）
4/20	第30回九州地区国立大学図書館協議会（琉球大学）	5/31	平成12年度第1回薬学部分館図書委員会
4/21	第51回九州地区大学図書館協議会総会（沖縄国際大学）	6/8	熊本県図書館連絡協議会理事会（熊本県立大学）
4/21	留学生がイタンス	6/14	平成12年度第1回医学部分館図書委員会
4/28	第6回熊本県大学図書館協議会総会（熊本県立大学）	6/27-28	第47回国立大学図書館協議会総会（金沢大学）

第17回熊本大学附属図書館特殊資料展

永青文庫による細川家（藩）の大名屋敷

本年も、11月3日(金)～5日(日)の3日間、学園祭（熊粹祭）の期間に合わせて特殊資料展を開催致します。出品資料は、細川藩の江戸屋敷図など永青文庫の中から貴重な絵図・古文書を出品致しますのでご覧ください。11月3日(金)には、工学部教授 北野 隆氏の講演会も行われます。

☆ 特殊資料展

期間 平成12年11月

3日(金)～5日(日)

時間 10:00～16:00

会場 熊本大学附属図書館

自由閲覧室 (B1F)

入場無料

☆ 出品資料

(永青文庫)

龍口御屋敷之図

龍口御屋敷図

龍口御屋敷惣御絵図

芝御屋敷絵図

戸越御屋敷惣御差図

御花畑御絵図

水前寺元御茶屋絵図

分間江戸大絵図 完

他古文書 6点



☆ 公開講演会

演題 『細川家（藩）の江戸屋敷』

講師 熊本大学工学部
北野 隆 教授

期日 平成12年11月3日(日)

時間 13:30～15:00

会場 熊本大学附属図書館
大会議室 (2F)

入場無料

江戸時代の特徴の一つに「将軍御成」が挙げられる。「将軍御成」が最も盛んに行われたのは、寛永期の三代将軍家光公の時であった。そこで、各藩は競って「御成屋敷」を作った。この「御成屋敷」については、幕府大棟梁平内家に規範図（略図）は残されているが、その実体については不明な点が多い。

今回、永青文庫蔵の細川家（藩）の江戸屋敷絵図を史料に近世初期の大名屋敷について明らかにする。

編集後記：猛暑の中、3週間程「大学図書館職員長期研修」に参加しました。全国の大学図書館職員の方達と共に講義を受けたり、他大学の図書館や国会図書館、国文学研究資料館などの見学をしたり、更にお互いの情報交換と有意義な研修でした。電子化の時代を迎え、図書館も変貌しつつありますが、久しぶりに初心にかえて、改めて「図書館とは何か?」「利用者にとって理想の図書館とは?」と考えるよい機会になりました。今回の研修で複数の講師の方から言われたことは「情報発信のできる図書館になってほしい。」ということでした。又、「職員は情報を提供できる能力を持ってほしい。」とも。今号では、学術資料調査研究推進室、予算執行状況確認サービスの紹介、統計、資料展の案内など、図書館の活動や新しいサービスを紹介する記事が中心となり、図書館からの情報発信の号となったのではないかと思います。今後もみなさまからの要望も取り入れながら、いろいろな情報をお届けしていきたいと思っています。

熊本大学附属図書館報「東光原」(とうこうげん)*
25巻3号 平成12年(2000年)7月発行

発行所 熊本大学附属図書館
〒860-8555 熊本市黒髪2-40-1
TEL: 096(342)2273 FAX: 096(345)9087
<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/tokogen/>
編集 浜崎修一, 梅尾勝征, 甲斐重武,
永村典子, 川内野祐子, 浜崎千雅

※ 現在の中央館の敷地一帯が、旧制第五高等学校時代東光原と称する運動場であったことに由来する。